

様式 1

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2024 年 6 月 11 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所

〒 060-8651
札幌市中央区北4条西1丁目3番地
氏 名
ホクレン農業協同組合連合会
(代表者名) 代表理事長 篠原 末治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		87 協同組合												
事業の規模	従業員数	974		人	原油換算した		962		kl					
	使用床面積	33,374		m ²	燃料・熱・電気の合計量									
	事業所数	7	事業所	自動車使用台数		80		台						
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン		N ₂ O		HFC							
		非エネルギー起源CO ₂	PFC		SF ₆		NF ₃							
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)						☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項						
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)						☒ 第 1 項 ☐ 第 2 項						
計画書の担当部署		担当部署名												
		担当者氏名												
		電話/FAX												
		電子メールアドレス												
計画期間		2024	年	4	月	1	日	～	2027	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	☐ 有 (認証名) ☒ 無												
	その他													

注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。

2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。

3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。

5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。

6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

7 ☐のある欄には、該当する☐内にレ印を記入してください。

8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

環境と調和したクリーン農業を推進している本会としては、これまでも事務所等に対し省エネの取組みを継続しておりますが、今後とも本条例の趣旨を十分に認識し、更なる環境保全に向けた行動を取ってまいります。

- 特に、下記4点につきましては重点的に取り組んでまいります。
- (1) 事務所および各施設で使用する資源・エネルギーの環境への負荷軽減に努めます。
 - (2) 条例の趣旨と取組みを全職員に周知徹底し、環境保全に対する意識向上を図ります。
 - (3) 低燃費・低排出ガス車両及びハイブリッド車への更新に努めます。
 - (4) エコドライブを推進します。

2 行動目標

【計画期間】

2024 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

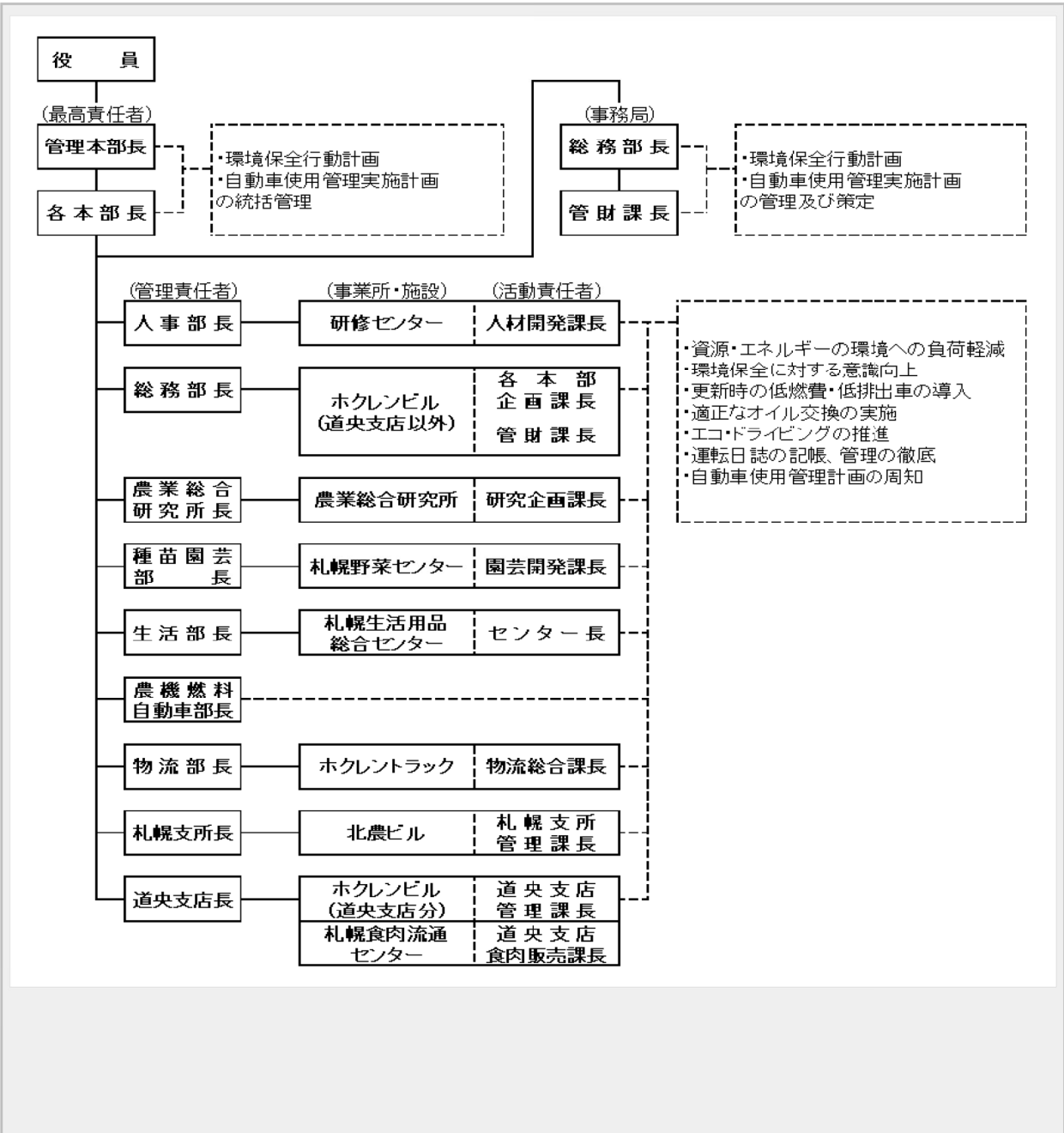
行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
事業活動に伴うCO2排出量の削減	2260	t-CO2	3 %	2190	t-CO2	令和5年度対比	電力、ガス、灯油
自動車使用に伴うCO2排出量の削減	161	t-CO2	1 %	159	t-CO2	令和5年度対比	揮発油、軽油
			%				
			%				
			%				
			%				

- 注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。
- 2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。
- 3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。
- 4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2024 年度	2025 年度	2026 年度
減C事業 O2活動 排出量の削減	昼休みの消灯を行う	活動責任者	全員	継続	継続	継続
	更衣室、書庫、会議室、給湯室等の不要な照明を消す	同上	同上	同上	同上	同上
	2UP3DOWN運動で昇降機の使用を控える	同上	同上	同上	同上	同上
	ブラインドの適切な使用により冷暖房負荷を軽減する	同上	同上	同上	同上	同上
同上	室内温度基準を設定する	ビル設備	担当者	同上	同上	同上
	始業前以外では昇降機を輪番制で部分的に停止する	同上	同上	同上	同上	同上
	空調関係機器が効率よく働くよう定期的にメンテナンスする	同上	同上	同上	同上	同上
同上	複写機は節電モードで使用する	事業所・各施設	全員	継続	継続	継続
	対処時OA機器の電源OFF(24時間対応機器を除く)	活動責任者	同上	同上	同上	同上
	OA機器は省エネモデルをできるだけ導入する	同上	担当者	同上	同上	同上
減C自動 O2車 排出量の削減	更新時に低燃費・低排出ガスの車両を導入する	活動責任者	担当者	継続	継続	継続
	適切にオイル交換を実施する	同上	同上	同上	同上	同上
	エコドライブを実践する	同上	同上	同上	同上	同上
	運転日誌の記帳、管理の徹底	同上	同上	同上	同上	同上
同上	自動車使用管理計画の周知(環境保全意識の向上)	同上	全員	同上	同上	同上

4 環境保全に係る実施組織体制



5 その他（環境保全活動の取り組み等）